

# 社会的養護の子どもたちの「育ちと巣立ち」を支える 私やあなたにできることを考える

日時：2020年3月14日（土） 13～17時（12時半、受付開始）

会場：大阪府立大学 中もずキャンパス B3棟117室

参加費：1000円

（施設や里親家庭での生活経験者および学生は無料です。社会的養護経験者の方は、受付でお申し出下さい。学生の方は、受付で学生証をご提示ください。）

## —報告者—

### 1. 児童養護施設当事者からみた自立支援の現状と課題

畑山麗衣さん

（社会的養護経験者, 里親型ファミリーホーム野口ホーム補助員, NPO法人IFCA関西ユース）

### 2. 自立支援とアフターケアを担う児童養護施設職員の立場から

芦田拓司さん

（児童養護施設「大阪西本願寺常照園」自立支援コーディネーター）

### 3. 社会的養護の子どもたちの自立を支える弁護士の立場から

西村英一郎さん

（大阪弁護士会子どもの権利委員会, 弁護士, 自立支援ネットワーク「きずな」代表）

### 4. 社会的養護の子どもたちの自立を支える地域のおとなの立場から

前川順さん

（ジュンブライダル 京都中小企業家同友会）

### 5. 社会的養護の子どもたちの進路選択に寄り添う教員の立場から

和田浩幸さん

（大阪府立淀川清流高校 教諭）

司会（コーディネーター）：伊藤嘉余子さん（大阪府立大学地域保健学域教授）

話題提供：薬師寺順子さん（大阪府岸和田子ども家庭センター所長）

本来、子どもの育ちを支えるのは親・家族の役割です。しかし、貧困や虐待など様々な理由によって、生みの親や家族を頼れない社会的養護の子どもたちの「育ちと巣立ち」を親に代わって社会全体で支えていくことは、とても重要です。この講座では、社会的養護の当事者の声を踏まえ、施設職員だけでなく、それ以外のさまざまな立場の「おとな」が社会の一員として社会的養護の子どもたちの自立を支えるために果たせる役割について、広く考えたいと思います。

申込方法：E-Mail 件名に「3/14公開講座」、本文に氏名・フリガナ・ご所属を記載の上、3/12までに下記アドレスへお申込みください。  
メールの自動返信で参加受領といたします。  
定員超過等が発生した場合のみお断りのご連絡を差し上げます。  
定員に達しました時点で受付終了といたします。

申込先：[kouza314@ao.osakafu-u.ac.jp](mailto:kouza314@ao.osakafu-u.ac.jp)

定員：160名

問合せ先：大阪府立大学 教育福祉研究センター Tel:072-254-9517（10時～16時）



### 中百舌鳥キャンパスまでのアクセス

- 南海高野線「白鷺駅」下車、南西へ約500m、徒歩約7分。
- 南海高野線「中百舌鳥駅」下車、南東へ約1,000m、徒歩約13分。
- 大阪メトロ御堂筋線「なかもず駅（5号出口）」南東へ約1,000m、徒歩約13分。